

# しおかぜ

～2013年 No.14～

## 基本理念

病める人とともに、和と向上心を持って、  
総合的かつ継続的医療の実現を目指す。

## 基本方針

- 1.垂水地区の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な医療を提供します。
- 2.一次救急、二次救急および地域医療支援に24時間体制で対応します。
- 3.保健・医療・福祉の連携により、地域住民の健康増進に貢献します。
- 4.患者様の人権を尊重し、患者様を中心としたチーム医療に努めます。
- 5.感染症および災害発生時には、拠点病院としての役割を果たします。
- 6.医療従事者の生涯教育に努め、質の高いスタッフで患者様の健康を守ります。
- 7.病院を健全経営し、患者様に安定した医療を提供できるように努めます。

## 【目次】～CONTENTS～

- ◇P1：特集1
  - 地域医療に関するシンポジウム開催について
- ◇P2：特集2
  - 集団事故救急救助訓練について
- ◇P3：薬剤師からのアドバイス
  - 後発医薬品について
- ◇P4：新任医師紹介
- ◇P5：お知らせ
  - インフルエンザ予防接種について

## 特集 1 ～ 垂水市で地域医療に関するシンポジウムが開催されました ～

7月6日（土）垂水市文化会館で「みんなで支える医療とまちづくりシンポジウム」が開催されました。当日は、一般市民や医療・介護・福祉関係者約800人が参加しました。第1部では、鹿児島大学理事の高松英夫先生による基調講演が行われ、地域医療の現状と今後の在り方について、医師不足や診療科別・地域別の医師の偏在等について、問題点を挙げながら現状を説明されました。また、県や鹿児島大学で現在医師不足対策に取り組んでいる内容についてわかりやすく説明されました。第2部では、5名のパネリストを招きパネルディスカッションを開催しました。各パネリストそれぞれの立場から、地域医療について発表がありました。今回のシンポジウムに当院から2名の医師が参加しました。

（座長） 院長 安部 智

（パネリスト） 在宅療養支援室 部長 池田 忠



## 特集 2 ～ 集団事故救急救助訓練に参加しました ～

毎年9月9日の救急の日を含む一週間は、救急医療週間と定められています。垂水市でも救急医療週間にあわせて、9月12日（木）垂水市地方卸売市場駐車場で集団事故救急救助訓練を実施しました。当日は、消防や警察、垂水中央病院の職員ら約70人が参加しました。

訓練は、普通乗用車とマイクロバスが正面衝突し、負傷者が約10人いる事故を想定。また、脱出不可能な負傷者がおり、乗用車は炎上の恐れがあるとの想定で開始されました。参加した垂水中央病院の医師や看護師は、治療の緊急性を見分けるトリアージや応急処置を担当しました。この訓練に参加して、初動体制の確立や救急救助技術の向上及び他機関との連携を確認する良い機会となりました。



## 薬剤師からのアドバイス ～ 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について ～

最近、病院で薬が出される場合、後発医薬品がよく処方されるようになってきました。後発医薬品は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして国が製造販売を承認したものです。開発費用が安くすむことから先発医薬品より価格を安く設定でき、患者負担の軽減、医療保険財政の改善という観点から政府が後発医薬品の使用を積極的に推進しています。このような事情により、今後も後発医薬品の処方がますます増えていくものと考えられます。

### (1) 後発医薬品とは？

先発医薬品の特許期間が切れた後、製造される医薬品で、先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、効能・効果・用法・容量が原則的に同一であり、先発医薬品と同等の臨床効果が得られる医薬品です。



### (2) 後発医薬品の価格について

先発医薬品の開発には 10～20 年程度の年月と、500 億円以上ともいわれる開発コストが必要といわれています。これに対し、後発医薬品の開発期間は 3～5 年ですむためコストを大幅に抑えることができます。このため、後発医薬品の価格は先発医薬品の 7 割以下の設定になっています。従って、後発医薬品を使用した場合、医療費の中に占める薬剤費を大幅に抑えることができるわけです。

### (3) 後発医薬品の効果について

後発医薬品を製造販売する為には、先発医薬品と同様に薬事法に基づき厚生労働大臣より承認を得る必要があります。そのためには、後発医薬品メーカーは、①品質性 ②安定性 ③有効性・安全性が先発医薬品と同じであることを証明しなければなりません。



今回の説明で、後発医薬品が医療費抑制に貢献すること、有効性、安全性の面でも安心して使用できることが理解して頂けたことと思います。皆さんが病院で後発医薬品を処方してもらいたい場合は、薬を処方する医師又は薬剤師にご相談ください。

(医師の判断や後発医薬品に適応症がない場合、後発医薬品が販売されていない場合などは後発医薬品を処方できないことがあります)

## 新任医師紹介



### 内科

いじゅういん たいせい  
**伊集院 太生**

今年 4 月より鹿児島大学  
糖尿病内分泌内科から派  
遣され、当院内科に所属し  
ております伊集院太生と

申します。鹿児島県民ではありますが、垂水のみならず大隅半島での勤務は初めてです。まだまだ経験年数も短く、未熟な身ではございますが周りの医師やコメディカルの助けを頂いて、内科学の勉強に励み、地域医療に少しでも貢献できるように努力していこうと考えております。よろしくお願い致します。



### 外科

ながの たかひこ  
**長野 貴彦**

今年7月より赴任いたしま  
した長野貴彦と申します。  
垂水での勤務は初めてにな  
ります。赴任して3ヶ月が

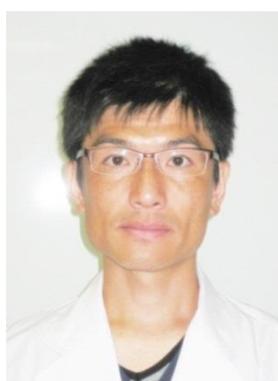
経とうとしておりますが、猿ヶ城溪谷や千本イチョウなど垂水市の魅力に驚かされています。(火山灰にはまいてっておりますが・・・) 学生時代は柔道をしておりましたが、垂水にきて剣道をする機会に恵まれました。外科医として地域医療に貢献できるように頑張っていこうと思います。宜しくお願い致します。



### 眼科

かわの すみひろ  
**川野 純廣**

平成 25 年 10 月より垂水中央病院に赴任となりました眼科の川野純廣です。若輩の身ではありますが、垂水の地域医療に貢献できるように精一杯頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



### 研修医

やすだ しゅんすけ  
**安田 俊介**

9 か月間、垂水中央病院にて研修させて頂きます。地域医療、一次二次救急など経験できればと考えています。内科研修医として自分自身が成長できるよう努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## お知らせ

### ●当院でのインフルエンザ予防接種について

【接種実施期間】 平成25年10月15日（火）～平成26年1月31日（金）

【接種実施日】 月～金曜日（ただし、祝日を除く） 受付：13時30分～13時50分

【対象者】 小学生以上（ただし、小中学生・高校生の方の接種は保護者の同意が必要）

【接種料金】 当院初回3,000円（当院2回目：1,500円）

【補助額】 ①垂水市に住民票があり、接種日に満65歳以上の方

②垂水市に住民票があり、満60歳以上65歳未満で心臓や肝臓、呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方（厚生労働省令で定める内部障害1級の方）

③垂水市に住民票があり、接種日に小学1年～6年生の方

※①②に該当する方は初回のみ1,500円補助（初回の自己負担：1,500円）

※③に該当する方は初回のみ3,000円補助（初回の自己負担：0円）

■平成25年10月1日（火）より内科外来受付にて予診票をお渡ししておりますので、直接お申し出ください。（予約制ではありません）

## 診療に関するお願い

※当院は基本的に全診療科予約制です。診察をご希望される方は、予約をされてからご来院下さい。（但し、緊急の場合は電話などでご相談ください）

電話番号：32-5211

予約受付時間：月～金曜日8時30分～17時まで

土曜日8時30分～12時30分まで

### 垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL：0994-32-5211 Fax：0994-32-5722（総務課）

0994-32-5230（医事課）

【E-mail】 tarubyoin@po.city.tarumizu/kagoshima.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>